

<神楽坂代数セミナーのお知らせ>

公理的集合論の専門家である依岡輝幸先生(静岡大学)がこの分野の入門的なお話しを交えて以下の内容で講演してください。興味のある学部生も気楽にご参加ください。初日だけの参加でもとても意味があると思います。皆様のご参加をお待ちしております。

○日時：12月7日(金)16:10--17:40 / 12月8日(土)10:00--11:30

○場所：(両日とも)神楽坂キャンパス 1号館3階 134教室

○講演者：依岡輝幸(静岡大学理学部数学科)

○タイトル：Martinの公理とWhitehead群

○概要：

公理的集合論 ZFC は Cantor の集合論の形式化のひとつである。Cohen は強制法というモデルの拡大法を用いて、Hilbert の第一問題である連続体仮説が ZFC では証明も反証もできない(つまり ZFC と独立である)ことを示した。Martin の公理は強制拡大を部分的に取ることで閉じている ZFC と独立な数学的主張で、Baire のカテゴリー一定理の一般化と考えられる。Baire のカテゴリー一定理と同様に、Martin の公理は様々な応用を持つ。そのひとつが、Shelah による、Martin の公理から非自明な Whitehead 群が存在することの証明である。

ひとつ目の講演では Martin の公理とその応用についてを、ふたつ目の講演ではその応用例のひとつである Whitehead 問題を概観する。

神楽坂代数セミナー(<https://www.rs.tus.ac.jp/kida/seminar.html>)は東京理科大学総合研究院「現代代数学と異分野連携」部門の活動の一環として開催されています。

世話人(五十音順) [at]:=@

木田雅成 (kida@rs.kagu.tus.ac.jp)

切刀直子(kunugi@rs.kagu.tus.ac.jp)

眞田克典(sanada@rs.tus.ac.jp)

(東京理科大学理学部第一部数学科)

問い合わせ先

板場綾子 (itaba@rs.tus.ac.jp)

(東京理科大学理学部第一部数学科)